



創立149周年

5月号（令和4年4月28日発行）

kurosyou-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

自然に囲まれ、四季を感じる鉄小

校長 玉置 恭美



あっという間に4月が終わり、入学、進級してから、早1か月がたちます。最初は戸惑っていた1年生も、一人でできることが増え、給食当番や清掃活動などで自分の役割に自覚を持って取り組むようになりました。マスクを着用し、感染防止に配慮した中での学校生活ですが、児童一人ひとりが、今年のためあてをもって、新緑の若葉のように、ぐんぐんとそれぞれの良さを伸ばそうとしています。

鉄小学校が地域の方々のご指導で長年行っている稲作活動。5月に入るとすぐに、5年生が稲作活動の最初の学習「塩水選」を行います。これは、より元気な粳種を選別し、丈夫な苗を育てるための作業です。その後、播種(種まき)をして稲の苗を育てていきます。自分たちで育てたお米を給食で喫食することをめあてに、今年から給食の主食は自校炊飯になりました。麦、胚芽入りのごはんも、ふっくら炊き上がり、自校炊飯の良さを感じています。

3年生は、総合的な学習の時間に、梨の受粉を体験しました。梨の花がついた枝を手に、「ミツバチ」になって、梨畑の中を駆け巡り、受粉していました。梨の中心にキラキラしたところを見つけ、目を輝かせていた3年生たちです。きっときっと、おいしい梨が実ることでしょう。楽しみです。自然の移ろいを農作物の成長とともに感じられる、幸せな鉄小学校です。

高学年ブロックでは、今年度から、教科指導の一部分担制「チーム学年経営」を行います。教務主任であるチームマネージャーの先生を中心に、音楽、家庭科に加え、算数を専科の先生が受け持ち、5、6年生の理科、体育をそれぞれ担当の先生が教えます。専門性を生かした授業展開、チーム全体で高学年の児童を見守ること、そして、教科担任制である中学校への滑らかなつながりを目的としています。先生方がそれぞれの得意分野で力を発揮し、子どもたちの主体的、対話的で深い学びにつなげます。